

生涯教育研修活動報告書

細胞検査研究班

- 1 実施日時：2024年10月10日 18時00分～19時30分
- 2 会場：Web開催 教科・点数：専門教科－20点
- 3 主題：2024年認定試験直前!! スライドセミナー 第2弾
- 4 講師：阿部 直也（北里大学 医療衛生学部 医療検査学科）
柴田 真里（上尾中央総合病院）
田中 佳緒（埼玉県済生会川口総合病院）
- 5 協賛：なし
- 6 参加人数：会員 197名 賛助会員 0名 非会員 1名 学生 49名
- 7 出席した研究班班員：鶴岡慎悟 船津靖亮 急式政志 野本伊織 猪山和美 稲山拓司
小川弘美 並木幸子 加藤智美 中山美咲

8 研修内容の概要・感想など

認定試験に向けた対策として行っているスライドセミナー第2弾の研修会は消化器、体腔液、泌尿器、その他領域から30問の設問形式で細胞像を写真で提示し、各担当の講師が解説を行った。

まず阿部氏より消化器、その他領域の解説が行われた。消化器領域では胃・膵臓のEUS-FNA検体や膵胆管ERCP検体、肝臓検体と幅広く取り上げられており、それぞれの設問にある良性病変、悪性病変を構造・細胞異型の所見で比較していた。さらに胆汁の腺癌では判定基準を用いた詳細な解説があり鏡検にも活かせる内容であった。その他領域は口腔、耳下腺で過去問を意識した典型例の出題であった。

次に柴田氏より体腔液、泌尿器領域の解説が行われた。体腔液領域では反応性中皮細胞、悪性中皮腫、腺癌の提示があり出現様式や個々の細胞所見を表で対比した鑑別が行われ、理解し易かった。また、ギムザ染色を用いた上皮性悪性腫瘍と血液疾患の解説も加えられ充実した内容であった。泌尿器領域は出題傾向の高い高異型度尿路上皮癌をはじめ、良性症例（デコイ細胞、良性尿路上皮細胞）や腺癌が解説され、前年の試験で出題されたセミノーマについての丁寧な解説も行われた。

最後に田中氏よりその他領域の解説が行われた。その他領域は脳、骨軟部、唾液腺、リン

関節、絨毛疾患とバラエティーに富む内容で過去5年間の出題傾向に沿った設問であった。特に脳腫瘍や骨軟部では腫瘍の概要、細胞像の解説に加え、好発年齢や好発部位といった臨床所見から読み解くポイントも含まれ試験対策に有用な内容であった。

今後も認定試験に向けた対策として研修会を行うべく、参加者のニーズや試験の傾向を分析し、引き続き充実した研修会を企画していきたいと思う。

提出日：2024年10月23日

文責：船津靖亮